

2009.10.29 (Thu)

2:00 pm~

シンポジウム これからの外国語教育

大阪大学 言語文化研究科・外国語学部・サイバーメディアセンター・
留学生センター・世界言語研究センター 共催

開催趣旨： 2007 年の大阪大学・大阪外国語大学の統合にともない、25 の専攻語をもつ外国語学部が本学に加わりました。従来の全学共通教育で行なってきた外国語教育も、第 2 外国語の選択肢が増えるなど、新しいカリキュラムがスタートしています。他方で、CALL など情報通信技術（ICT）を生かした学習・教育の方法も広がり、多くの可能性を示しています。現在、大阪大学の外国語教育は、対象や方法や目的の多様化、担当部局や制度の多元化・多層化の時期を迎えているといえるでしょう。こうした状況を踏まえつつ、今回のシンポジウムでは、言語文化研究科、外国語学部、サイバーメディアセンター、留学生センター、世界言語研究センター協賛の FD 活動の一環として、これからの外国語教育の可能性と課題を考えていきます。

第1部 会場:大阪大学 箕面キャンパス B 棟 3 階 CALL 教室

開会挨拶 (14:00)

報告 1 授業内外での LMS 活用事例 (14:05)

竹蓋 順子 (サイバーメディアセンター・言語文化研究科言語文化専攻兼任/英語)

報告 2 CALL 教室における市販教科書の活用例 (14:25)

ヨコタ・ジェリー (言語文化研究科言語文化専攻/英語)

報告 3 留学生に対する日本語教育における IT の利用について (14:45)

難波 康治 (留学生センター・言語文化研究科言語文化専攻兼任/日本語)

第2部 会場:大阪大学 箕面キャンパス 管理棟 401 会議室

報告 4 フランス語初級文法の授業の今とこれから (15:20)

岩根 久 (言語文化研究科言語文化専攻/フランス語)

報告 5 携帯電話で利用可能なロシア語教材について (15:40)

上原 順一 (言語文化研究科言語社会専攻/ロシア語)

報告 6 専攻語としての外国語教育の多様性 (16:00)

竹原 新 (世界言語研究センター/ペルシア語)

パネルディスカッション (16:25-16:55)

パネリスト: 竹蓋 順子・難波 康治・岩根 久・上原 順一・竹原 新

閉会挨拶 (17:00)

詳しくは下記 HP をご覧ください

<http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/index.cgi?page=20091029>